

ID LETTER

株主のみなさまへ
第47期 第2四半期 決算のご報告
2014.4.1～2014.9.30



IT投資が回復傾向をたどるなか、 第2四半期としては過去最高の 売上高を達成しました。

企業のIT投資は2013年の後半から連続して前年同月を上回り、拡大基調が継続しています。IDグループのシステム運営管理事業およびソフトウェア開発事業はともに好調に推移し、2015年3月期第2四半期の売上高は90億98百万円(前年同期比7.4%増)、営業利益は4億12百万円(同16.3%増)となりました。システム運営管理事業における金融系の大型案件や既存案件の要員増、プラットフォーム系開発業務の売上拡大、およびソフトウェア開発事業の金融向け案件が好調に推移したことなどが業績拡大に寄与しました。

企業収益が改善傾向を続けるなかで、設備投資も緩やかに増加し、今後もIT投資は活発化することが期待されます。このような状況のもと、当社グループは事業拡大やお客さまへのサービス向上のため、主力のシステム運営管理事業をさらに強化すると同時に、中期経営計画で掲げる「ダイバーシティの推進」や「グローバル推進」などの重点戦略を実行してまいります。2015年3月期については、売上高187億30百万円、営業利益9億40百万円を見込んでいます。

なお、2015年3月期の期末配当につきましては、通期の連結業績見通しを勘案し、普通配当として4円の増配、および東証1部上場と創立45周年による2円の記念配当により、1株あたり30円とさせていただきます。

2014年10月30日

代表取締役社長

船越真樹



東証1部上場への 歩み >>>

IDグループは1969年10月に創業し、1998年の店頭登録、2013年の東京証券取引所市場第2部への市場替えを経て、ついに創業から45年にして、念願の市場第1部上場を達成しました。このことは、このうえもない喜びであり、また感動であります。

ここに至るまでの、株主のみなさま、お客さま、社員をはじめ多くの関係者の方々のご支援には、心から、心から感謝いたします。

今回の1部上場により、さらに公の会社としての責任が増したことを全社員が認識し、全力で業務に取り組んでまいります。

本当にありがとうございます。



尾崎眞民社長
(現名誉会長)



飯田橋「宝ビル」

1969年 10月

東京都千代田区富士見町に
資本金3百万円をもって
株式会社インフォメーション・
ディベロップメントを設立。

1969年 12月
最初の直接取引となる
データ入力業務を受託。

1970年 5月

東京都千代田区麹町に
本社を移転。
システム運営管理業務を開始。

1970年 7月

ソフトウェア開発業務を開始。

1969 1970



創業

IDentity

当社グループには「IDentity」という経営哲学、行動基準があります。全社がより大きく飛躍するよう「技術力」とともに「人間力」を磨くための指針であり、全社で共有しています。私たちはこれからも社員一丸となって「IDentity」を実践していきます。

誇り

損か得かで判断するのではなく、正しいか正しくないかで判断できる「人」です。

4つのビジョン

- Challenge
- High Technology
- Global
- Creative

ミッション

私たちは、わくわくする未来創りに参加する情報サービス企業です。

三命

- 卓越した技術はIDグループの生命
- 高品質のサービスはIDグループの使命
- 未知への挑戦はIDグループの命題

3つの組織

- 「前向きな姿勢」を怠らない組織
- 「明日の組織作り」を怠らない組織
- 「人間力作り」を怠らない組織



株式会社ソフトウェア・ディベロップメント設立パーティー



二番町平和ビル(本社ビル)

1992年 4月
東京都千代田区二番町に本社を移転。

1997年 8月
セキュリティサービス事業を開始。

1998年 11月
日本証券業協会に株式を店頭登録。

2004年 12月
ジャスダック証券取引所(現東京証券取引所)に株式を上場。

2000年 3月
連結の従業員が1000人を突破。

2002年 4月
株式会社ブライトへ出資し、連結子会社化。

2004年 4月
中国湖北省武漢市に子会社艾迪系統開発(武漢)有限公司(ID武漢)を設立。



株式会社日本カルチャソフトサービスとの調印式

2006年 12月
株式会社日本カルチャソフトサービスの全株式を取得し、連結子会社化。



河川湖研修センター

2012年 3月
外国人社員が100人を突破。

2012年 5月
シンガポールに子会社 INFORMATION DEVELOPMENT SINGAPORE PTE. LTD. (IDシンガポール)を設立。

2012年 7月
河川湖研修センターを開業。

2012年 8月
アメリカに子会社 INFORMATION DEVELOPMENT AMERICA INC. (IDアメリカ)を設立し、ボストンに事業拠点を設置。



IDシンガポールが入るオフィスビル

東証一部 (2013)

東証一部 (2014)

2013年 12月
東京証券取引所市場第二部へ上場市場を変更。

2011年 11月
クラウドサービス **iD-CLOUD**を開始。

2012年 12月
東京証券取引所市場第二部へ上場市場を変更。

2014年 1月
障がい者雇用促進のための子会社愛ファクトリー株式会社を鳥取県鳥取市に設立。

2014年 9月
東京証券取引所市場第一部に指定。



東京証券取引所VIPテラスにて

今回の東京証券取引所市場第1部上場は、IDグループのさらなる成長に向けた通過点であると認識しています。2016年3月期に200億円を達成することを目標とし、①ダイバーシティ推進、②BOO(ビジネスオペレーションズアウトソーシング)戦略の推進、③クラウドサービスの推進、④グローバル推進、⑤グループ経営の効率化と業務プロセスの改善、を重点戦略として位置づけ、これまで以上に成長のスピードを加速させていきます。

IDグループは、「わくわくする未来創りに参加する情報サービス企業」として、社会に貢献していくことを再認識し、初心を忘れることなく、次のステージへ一歩を踏み出してまいります。

営業力強化のために、 ホームページをリニューアルします！

企業のホームページは、24時間365日稼働し、見込み客や既存顧客などの方々に対して有効な情報を提供することが可能です。売り上げアップに重要な役割を果たすことから、ホームページは「強力な営業サポートツール」と言われることもあります。

当社グループのホームページは、7年前に全面改修しましたが、構成は会社案内が中心で、お客さまに対するサービス情報や商材情報の紹介に関しては、部分改修で対応してきました。今回は、営業戦力を高めるサポートツールにすべく、12月に全面リニューアルする予定です。

また、現状のホームページを「コーポレートサイト」、「営業サイト」、「採用サイト」の3つに分割することにより、内容の充実を図っています。これにより、検索順位が上がる可能性が高くなるというメリットもあります。

リニューアルの内容として、具体的には、①各種情報を閲覧者のニーズに則した情報のカテゴリーで分類、②事例紹介を充実、③閲覧者が必要な情報を得やすいようシンプルなページ構成に変更、④お問い合わせフォームを設置することなどを予定しています。

さらに、採用サイトでは、就職活動の情報収集源であるスマートフォン用サイトの新設などを通じて、優秀な人材の獲得を進めていきます。

リニューアル後のホームページにつきましては、
下記URLよりご参照ください。(12月公開予定)

<http://www.idnet.co.jp>

実績・事例の掲載で 自社の強みをアピール！



営業戦略による 新規顧客獲得！（営業サイト）



キャリアイメージ強化による 人材確保！（採用サイト）

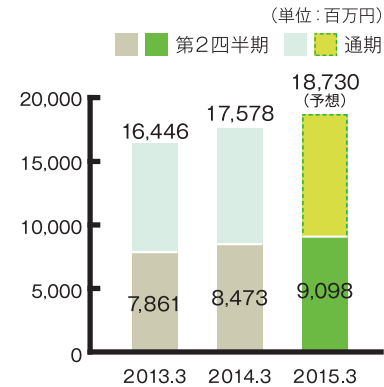


※掲載しておりますホームページの画像は、本冊子発行時点でのサンプル画像です。実際のホームページの画面とは異なる場合があります。

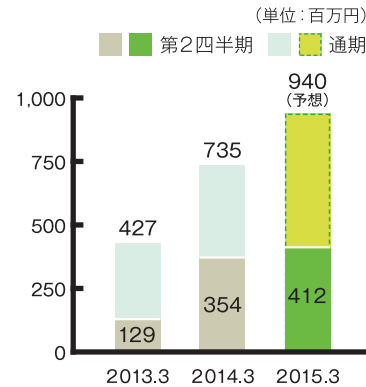
財務の状況

損益の状況

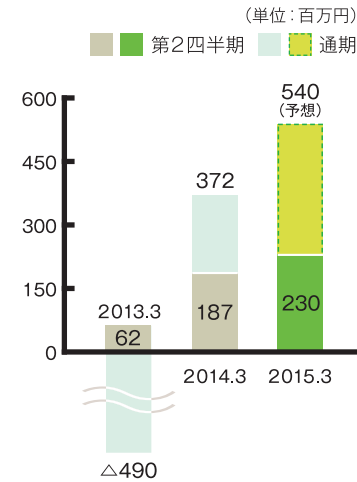
■ 売上高



■ 営業利益

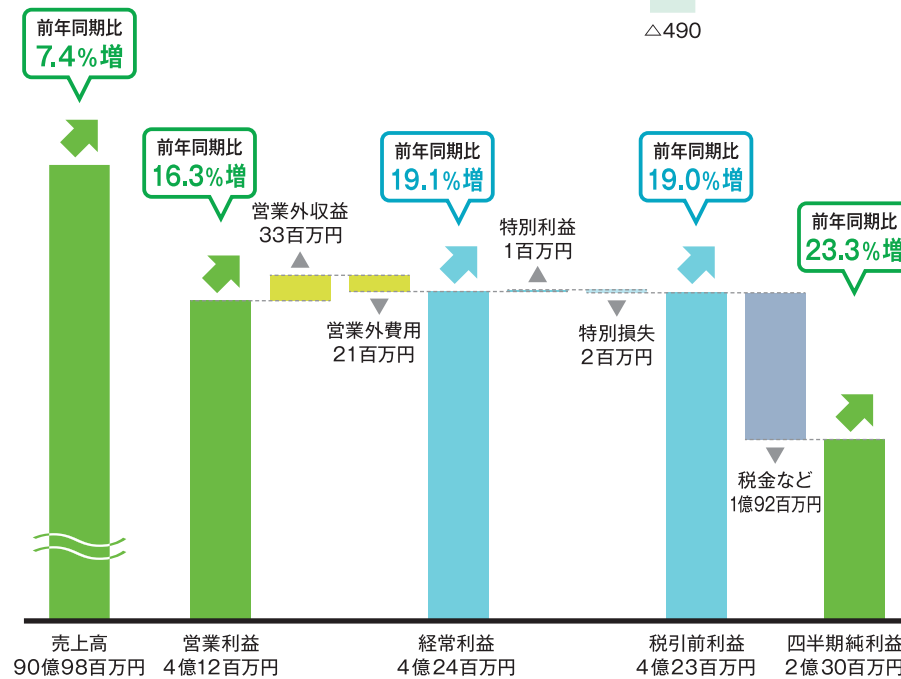


■ 四半期(当期)純利益



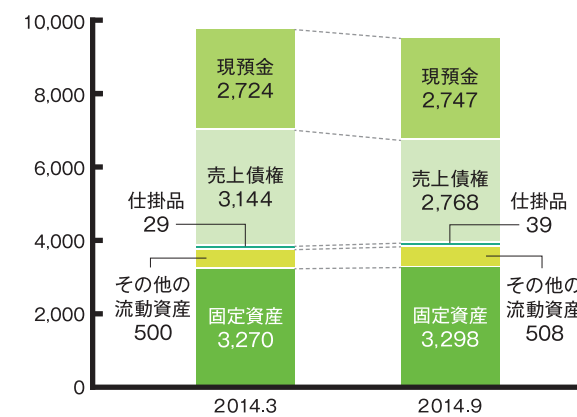
■ 当第2四半期の損益の変動

当第2四半期の連結売上高は、90億98百万円（前年同期比7.4%増）となりました。主力のシステム運営管理事業やソフトウェア開発事業が好調に推移し、売上高は増加しました。売上高の増加に加え、生産性向上により労務費率が減少したことも奏功し、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに増加しました。



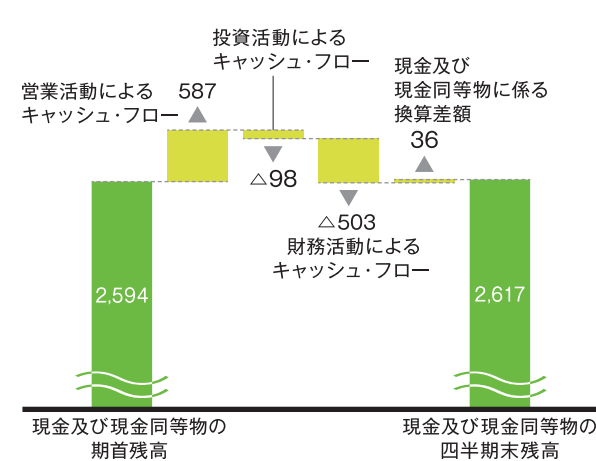
財政の状況

■ 資産の部

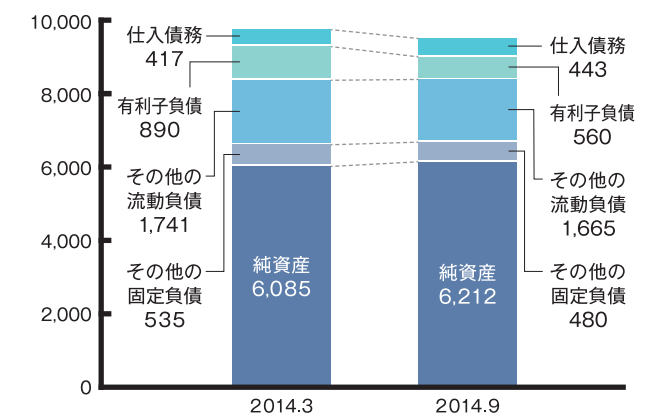


売上債権の減少などにより、資産は前連結会計年度末の96億70百万円から3億8百万円減少し、93億62百万円となりました。

■ キャッシュ・フローの推移

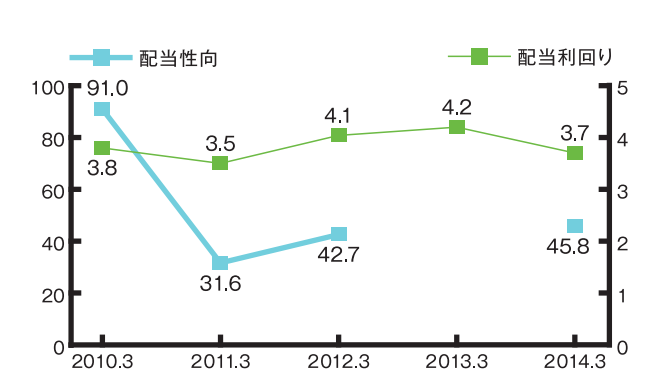


■ 負債・純資産の部



有利子負債や未払法人税の減少などにより、負債は前連結会計年度末に比べ4億34百万円減少し、31億49百万円となりました。純資産は1億26百万円増加し、62億12百万円となりました。

■ 配当性向／配当利回り



2014年3月期 1株当たり配当金 **24円** → 2015年3月期 1株当たり配当金(予想) **30円**

■ 会社概要

商号 株式会社インフォメーション・ディベロプメント (略称:ID) INFORMATION DEVELOPMENT CO.,LTD.

本社所在地 〒102-0084 東京都千代田区二番町7番地5 二番町平和ビル TEL.03-3264-3571(代表) FAX.03-3264-3618

創立 1969年(昭和44年)10月20日

資本金 5億9,234万円

社員数 1,517名(単体)

■ 国内・海外ネットワーク

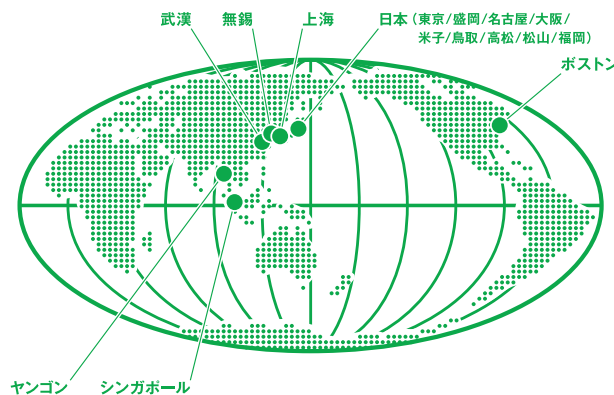
連結子会社

- 株式会社日本カルチャソフトサービス(略称:CS) 資本金:9,000万円 ID出資比率:100%
- 株式会社ソフトウェア・ディベロプメント(略称:SD) 資本金:1億円 ID出資比率:80%
- 株式会社プライド 資本金:4,000万円 ID出資比率:54.4% ※出資比率は自己株式を控除して計算しております。
- 艾迪系統開発(武漢)有限公司(略称:ID武漢) 資本金:110万米ドル ID出資比率:100%
- INFORMATION DEVELOPMENT SINGAPORE PTE. LTD.(略称:IDシンガポール) 資本金:150万シンガポールドル ID出資比率:100%
- INFORMATION DEVELOPMENT AMERICA INC.(略称:IDアメリカ) 資本金:550万米ドル ID出資比率:100%
- 愛ファクトリー株式会社 資本金:5,000万円 ID出資比率:100%

■ 役員

代表取締役社長	船越 真樹
代表取締役副社長	山川 利雄
取締役兼専務執行役員	小池 昭彦
取締役兼常務執行役員	七尾 静也
取締役	三木 昌樹(弁護士)
常勤監査役	寺門 常信
監査役	岡崎 正憲(公認会計士)
監査役	増田 裕明
	日向 研
	(みずほトラストオペレーションズ株式会社 取締役社長)
常務執行役員	山内 佳代
執行役員	倉重 恵造
執行役員	土谷 明
執行役員	西川 和彦
執行役員	南 耕治
執行役員	加藤 剛
執行役員	坂本 康
執行役員	榮 英司
執行役員	上拾石 直樹
執行役員	木村 由美子
執行役員	松浦 繁則

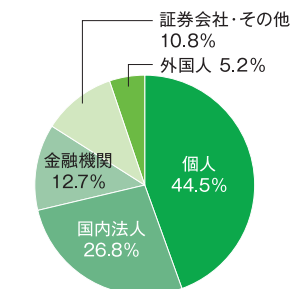
※取締役 三木昌樹は、社外取締役です。
※監査役 岡崎正憲、増田裕明、日向研は、社外監査役です。



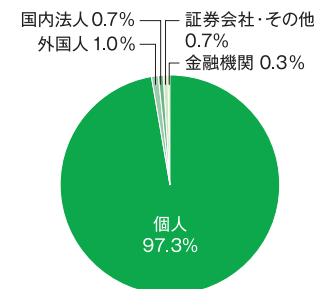
■ 株式情報

発行可能株式総数 24,000,000株
発行済株式総数 8,029,535株
株主総数 2,843名

■ 株式数別構成



■ 株主数別構成



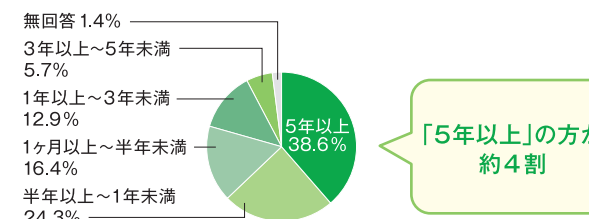
■ 大株主の状況

株主名	持株比率 (%)
有限会社エイ・ケイ	8.7
株式会社みずほトラストシステムズ	8.5
株式会社インフォメーション・ディベロプメント	7.3
ID従業員持株会	5.9
みずほ信託銀行株式会社	3.5
株式会社ケイ・シー・エス	3.5
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	3.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2.8
TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社	2.4
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	2.0

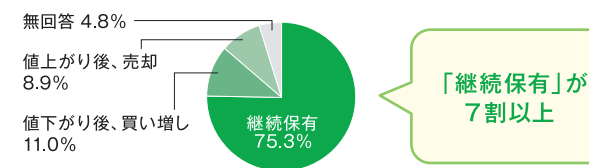
アンケート結果のご報告

前回の「ID LETTER」にて実施しましたアンケートには多くのご回答をいただきました。心よりお礼申し上げます。以下では集計結果の一部をご報告いたします。

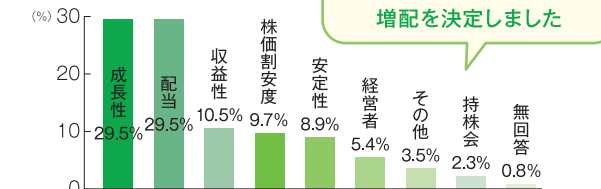
■ 当社株式の保有期間



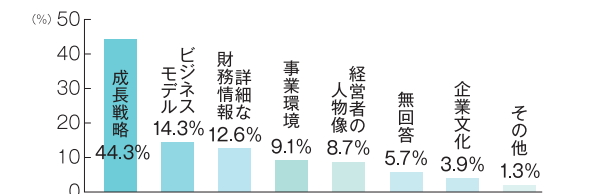
■ 投資スタンス



■ 当社株式ご購入の理由



■ IDレターに期待する内容



アンケートの結果や自由コメント欄に寄せられたご意見、ご要望を真摯に受け止め、今後の経営やIR活動の参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

個人投資家向け説明会のご案内

当社では下記日程にて、公益社団法人日本証券アナリスト協会主催の個人投資家向け会社説明会を開催いたします。

【東京】2015年2月10日(火) 13:35-14:25
会場：東京証券取引所ビル6階 第1セミナールーム
住所：東京都中央区日本橋兜町2番1号

【大阪】2015年2月13日(金) 15:50-16:40
会場：大阪銀行協会 本館7階 大会議室
住所：大阪府大阪市中央区谷町3丁目3-5

※なお、開催の詳細につきましては、開催日の約5週間前に、公益社団法人日本証券アナリスト協会および当社のホームページに掲載予定です。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

株式についてのご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当を行うときの中間配当金 9月30日

公告の方法 当社ホームページ上の電子公告により行います。
<http://www.idnet.co.jp>
ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
同事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社
本店証券代行部

郵送物送付 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
および みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先 0120-288-324(フリーダイヤル)

単元株式数 100株

証券コード 4709(東京証券取引所 市場第一部)



JQA-QM7617
SIS-1第2部
SIS-2第1部
SIS-2第2部
DMS-1第1部



EC99J1084
DMS-2第1部



JQA-IM0433
DMS-2第3部



株式 会社 インフォメーション・ディベロップメント

〒102-0084 東京都千代田区二番町7番地5 二番町平和ビル
TEL.03-3264-3571(代表) IRお問い合わせ先：社長室 TEL.03-3262-5177

IDに関するより詳しい情報はこちらへ

<http://www.idnet.co.jp>

